

## 今日のトピック インド株式市場は高値圏でもみ合い（2020年8月） コロナ感染が拡大する一方、海外投資家の買い越しが加速

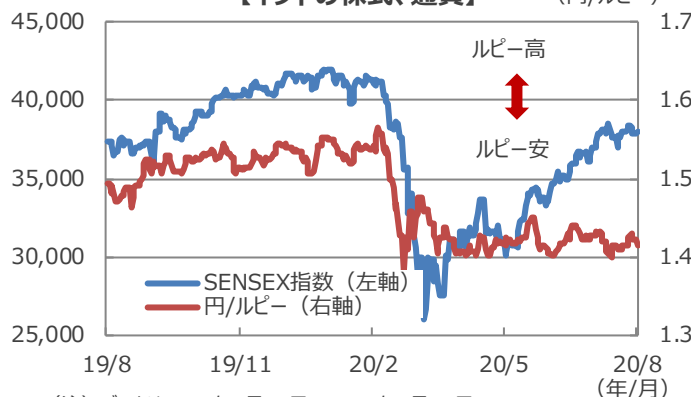
【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	8月17日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.42	0.1	▲0.8	▲8.2	▲5.3
ルピー/米ドル (ルピー)	74.89	▲0.0	▲0.2	5.0	5.2
金利 (%)					
政策金利	4.00	0.00	0.00	▲1.15	▲1.40
10年国債利回り	5.95	0.10	0.15	▲0.44	▲0.59
株価指数 (ポイント)					
SENSEX	38,050	▲0.3	2.8	▲7.3	1.9
NIFTY中型株100	16,455	0.9	8.0	▲7.7	4.0

(注) データは2020年8月17日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【インドの株式、通貨】 (ポイント) (円/ルピー)



(注) データは2019年8月17日～2020年8月17日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### ポイント1 8月のSENSEX指数は高値圏もみ合い

- 8月のインド株式市場は、グローバルなリスクオン（選好）相場が続くなか、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからないことから上値が重くなり、高値圏でもみ合う展開となりました。代表的な株価指数のSENSEX指数は、前月末の37,606ポイントから38,000ポイント台に上昇しましたが、その後は買いが続かず、比較的狭いレンジで一進一退の動きとなっています。インドでは新型コロナの累計感染者が260万人を超え、米国、ブラジルに次ぐ規模に拡大しており、景気への影響が警戒されています。

### ポイント2 インド準備銀行は利下げを見送り

- インド準備銀行（中央銀行、RBI）は8月6日の金融政策決定会合で、政策金利を年4.0%で据え置くことを全会一致で決めました。新型コロナの影響で景気が悪化するなか、市場では3会合連続の利下げ予想が優勢でした。RBIは、6月の消費者物価上昇率が目標レンジ上限を超えたことから、様子見を決めたとみられます。その後発表された7月の消費者物価上昇率は前年同月比6.9%と、前月から更に加速し、当面高止まりが見込まれるため、RBIは次回10月の金融政策決定会合でも政策金利を据え置くと思われる。

### 今後の展開 当面もみ合いが続く

- インド株式市場は、新型コロナの感染拡大に歯止めがかからず、景気の不透明感が強い状況にあるため、上値が重い展開が見込まれます。一方、海外投資家によるインド株の買い越し額は7月中旬以降加速しており、リスクオン（選好）相場の継続による資金流入が相場を支えています。このためインド株式市場は当面もみ合いが続きそうです。

ここも  
チェック! 2020年8月 6日 アジア・マーケット・マンスリー（2020年8月）  
2020年7月29日 インド株式市場は上昇続く（2020年7月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。